

クロスボーダー・プロフェッションを目指して

文系理系の間にあるアクリルの壁を超えて

大学で、たとえば理系に進学したら、卒業後は理系の仕事しかないと思いませんか。今回のパネルでは、理系と文系のアクリルの壁を超えて活躍されているお2人のお話を伺います。

司会：宮澤 俊昭 先生（民法）  
国際社会科学研究院 教授

「理系の知識は、探偵業（ガリレオ）だけでなく  
裁判でも使えます」

中道 徹 先生（知的財産法）  
AE 海老名・綾瀬法律事務所 弁護士  
国際社会科学研究院 客員教授

大学ではバイオを勉強され、高校教師（生物）、マッキントッシュのSE、バイオ機器メーカーのマーケティングを経て、司法試験に合格された弁護士です。渉外事務所、特許を中心に扱う法律事務所、米国留学を経て、現在、県央で法律事務所を運営されています。

「文系を出ても、国際宇宙ステーションに  
かかわる仕事ができます」

田渕 エルガ 先生（著作権法）  
国際社会科学研究院 准教授

大学では法学を勉強され、文部省（現文部科学省）に入省後、宇宙開発利用課、文化庁著作権課、国連の専門機関である世界知的所有権機関等での勤務を経て、現在は大学教員をされています。著作権法を中心とした知的財産法の専門家です。

7月13日（水）10：30～12：00

経営学部講義棟2号館109号教室

（キャンパスマップ N3-3）

主催：国際社会科学府 法曹実務専攻（法科大学院）・国際経済法学専攻

問い合わせ：社会科学系事務部 法科大学院係

TEL：045-339-3660 e-mail：int.houka@ynu.ac.jp

[www.ls.ynu.ac.jp/](http://www.ls.ynu.ac.jp/)  [www.iblaw.ynu.ac.jp/](http://www.iblaw.ynu.ac.jp/)